

KORYO



No. 4

2017年7月発行

図書館委員
Presents
Part3

ひんやりする本はいかがですか？

今月の図書館では、図書館委員選りすぐりの「ひんやり本」特集を開催中です。

ひんやりスイーツや夏レシピから、身の毛のよだつホラー小説、怪談絵本、都市伝説本まで。日頃から問い合わせの多い「怖い本」ですが、司書松尾は苦手分野。(ミステリーは好きですが、ホラーはごめんない。) 今回図書館委員が大量にリストアップしてくれましたので、怖いもの好きの方はこの機会にぜひ…。

暑いこの季節、図書館から「涼」をお送りします。



企画展示

AAA(Act Against AIDS)キャンペーン

保健室×図書館コラボ第1段として、『AAA (Act Against AIDS)』 & 『生と性』展示を実施しています。

AAA (Act Against AIDS) とは、「エイズに対して実際に行動すること」。音楽業界を中心に力を合わせ展開しているエイズ啓発運動です。(最近6人体制になったアーティストでは無い方のAAAです。)

今月の7月20日(木)「性に関する指導講演会」も実施されます。

他人事ではなく「自分事」として、まずは知ることから始めてみませんか？



保健室からお借りした啓発ポスターやパンフレットと併せて、関連図書を展示しています☆

Pickup

今月の司書オススメ本

『怪談えほん(3) いるの いないの』
京極夏彦/作 岩崎書店

怖い。怖すぎました。
ホラーは苦手でも絵本なら読めるかなと手を出してみたのですが…。絵本ながら怖さ炸裂です。「怖い怖い、絶対怖いもの来る」と思いながらも、やめられないとまらないこの感覚。
さすがは京極夏彦作品。(みなさんご存知でしょうか？ 直木賞作家であると共に、世界妖怪協会・世界妖怪会議評議員、関東水木会会員、怪談之怪発超人だそうです。)

この怪談絵本は、他にも宮部みゆき『悪い本』、恩田陸『かがみのなか』といった人気小説家が本気で描いた怪談作品がシリーズで出ています。

まだ読んだことが無い人は図書館でぜひ…。



『わたしは命がけてあなたを産みました 16歳のための、いのちの教科書』
内田美智子/著 青春出版社

助産師さんによる「いのち」と「性」へのメッセージ。

読む年齢や性別、その時々立場によって、受け止め方も違ってくるのかなと思いますが、みなさんにもぜひ一度手に取ってほしい一冊。

私自身今回初めて読んでみて、感動が胸が熱くなると共に、もっと早く(みなさんのような若かりし頃に)読んでおきたかったなとも思いました。

その一方で、「おっしやることはごもっとも」と思いつつ、この歳になってもすんなり受け止められない部分があったりしたのも正直な感想です。それでも、胸に引っかかったことは確かで、読むまで知らなかったことも沢山あり、自分の中を一度通過させておくだけでも意味はある気がしました。

今恋愛に悩んでいる人、恋愛以外でも何かしら悩みを抱えている人、あるいは幸せ真っ只中の人、医療や看護系の進路を考えている人、あてはまる人もそうでない人も含め、みなさん是非。

「素敵な恋をしてください。」(本文より)